

2025年9月1日

幼保連携型認定こども園 YMCA 保育園 9月えんだより

9月聖句：「主は羊飼い。わたしには何も欠けることがない」

<詩編 23 章 1 節>

9月に入りましたが、残暑が厳しく、秋の気配をなかなか感じられない日々が続いています。この夏は雨が降らない日が続き、農作物の水不足が心配されたかと思うと、突然の集中豪雨によって洪水や浸水が起こり、大きな被害を受けた地域もありました。被災された方々の復旧・復興をお祈りするとともに、日本の気候の変化に不安を覚える夏でもありました。

今月の聖句は「主はわたしの羊飼い。わたしには何も欠けることがない」です。聖書の中では、私たちは羊にたとえられることが多くあります。羊は興味のある方へとつい群れから離れ、迷子になってしまう弱さを持っています。しかし羊飼いは一匹も見捨てず、見つかるまで探し出し、抱きかかえて守ります。8月に子どもたちと歌った讃美歌『ちいさいひつじが』にも、その姿が描かれています。

羊は臆病で、群れからはぐれると戻れず、外敵から身を守ることもできません。私たち人間もまた、不完全で弱さを持つ存在です。しかし羊飼いであるイエス様は、一人ひとりをよく知り、その特性を認め、必要なものを備え、導いてくださいます。この聖句が語るように、本当に必要なものはすでに与えられており、私たちは「何も欠けることがない」と約束されているのです。

一方で、現代社会では「強い者だけが生き残る」という考えが強調されがちです。自国第一主義、取引でいかに優位性を保持するかという風潮です。しかし本当に弱肉強食であれば、羊やうさぎはとっくに絶滅しているはずで、歴史を見ても、弱さを持つ者が互いに支え合い、共に生きることで社会は守られてきました。私たちも羊のように弱さを持ちながら、だからこそ互いを必要とし、支え合うことができます。子どもたちの園生活も、そのような「共に生きる」経験の積み重ねとなりますように。

また9月にはふれあいうんどうかいが予定されています。うんどうかいは子どもたち一人ひとりの成長の姿を共に喜び合う場です。そして、うんどうかいそのものがゴールではありません。力を合わせて取り組む場面、一人でがんばる場面を通して、子どもたちはさらに成長していきます。その過程を、ご家庭の皆さまと一緒に喜び合い、楽しんでいただければと思います。

年主題：「ともに」 年主題聖句：「わたしはあなたと共にいる。」（イザヤ書 43 章 5 節）

9月	乳児（0,1,2 歳児）	幼児（3,4,5 歳児）
月主題	みてみて／おもしろそう	おもしろそう／気持ちいい
	・保育者の祈りや賛美を真似ようとする ・のびのびと過ごす中で、自分のお気に入りを見つける ・空や雲、虫の音を保育者とともに感じる ・神さまのお話を聞き、親しみをもつ ・保育者との関係が深まり、安心して自分自身を表す ・空や雲、虫の音に気づき、興味をもつ	・夏の間それぞれの場で守られたことを感謝し、礼拝、祈り、賛美の時をともにする ・夏の経験やこれまでの遊びからイメージを共有し、友だちとともに遊ぶ楽しさを感じる ・空や太陽、風など季節の変化に気づき、戸外で体を動かすことを心地よく感じる ・礼拝に皆で集い、ともにまもることで心が満たされる ・友だちと仲間（群れ）になって過ごすことや、イメージやルールをつくり出し一緒に遊ぶことを嬉しいと思う ・自分の好きな遊びの始まりから終わりまでの過程を繰り返したのしみ、その都度「これでよし」と心身ともに満ち足りる
讃美歌	ちから 幼児讃美歌Ⅱ15	